

移動等円滑化取組計画書

2020年 6月22日
京成タウンバス株式会社

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 現状の課題

当社では、以前よりバリアフリー化整備を進めてきたことが奏功し、2012年の1月には、ノンステップバス導入化率100%を達成済みである。その上、高齢者や障害者等の方々に対して、従来よりも、さらに乗降しやすい車両へと改善すべく、車内に反転式スロープ板や段差部のLED注意喚起等の装備を推進しているが、全車両への導入にはまだ時間を要する状況にある。このため、2018年度から、上記機能を装備の上、車椅子の旅客が2名乗車可能な最新型ノンステップバスの導入も推進しているが、ほとんどが1名のみを対象とした従来型ノンステップバスである。

一方、東京都葛飾区等を中心とした当社の営業エリアにおいては、高齢者・障害者等の御利用も多く、これらの方々を含めたすべての御客様へのサービス向上策として、停留所へのバスロケーションシステムによる到着時分の表示を推進しているものの、2019年度末時点で、22停留所のみの対応に留まっている。なお、ノンステップバスか否かの情報については、バスロケーションシステムへの表示、ホームページへの掲載等によって提供している。

(2) 今後の対応方針

上記課題を勘案し、反転式スロープ板及び段差部のLED表示を装備し、あわせて車椅子の旅客が2名乗車可能な最新型ノンステップバスに順次、代替するほか、バスロケーションシステムの拡大を推進する。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ノンステップバス	最新式ノンステップバスを4両導入する。 (全て、従来型ノンステップバスからの代替とする)
車椅子2台乗車対応バス	車椅子の旅客が2名乗車可能なバスを4両導入する。 (全て、新規製造車とする)

- ② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
利用方法の周知	バスロケーションシステムの利用促進のために、バス車内や停留所での周知を図る。

- ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
情報提供の拡充	バス到着時分表示を行うバスロケーションシステム対応停留所の増設や、ホームページのリニューアルに向けた計画策定。

- ④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員研修	新任乗務員を対象とした高齢者、障害者の方の乗降支援に関する研修を実施。

III 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

<p>主な営業エリアである東京都葛飾区や江戸川区との情報交換により地元住民からの要望等を把握する。</p>

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由
情報提供の拡充	バスロケーションシステム表示機の増設を先送り。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う経営状況悪化。